

# 芦田川水害タイムライン

## 《令和元年度版》



福山市



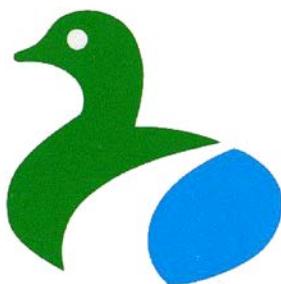
府中市



陸上自衛隊 第13旅団



広島県



Ashidagawa



広島県警察

警察本部  
福山北警察署  
福山東警察署  
福山西警察署  
府中警察署



広島地方気象台



国土交通省

中国地方整備局  
福山河川国道事務所  
八田原管理所

交通  
機関



株式会社中国バス

ライフ  
ライン

報道  
機関

Enercia

福山ガス

NHK

広島家族.RCC

つながってる  
HOME

中国電力

NTT西日本

広島テレビ!

tSSテレビ新広島

Cable Joy



令和元年8月26日

芦田川水害タイムライン検討会

# 目 次

1. 芦田川水害タイムラインとは	・ ・ ・ ・ ・	P1
1-1 芦田川水害タイムラインの概要	・ ・ ・ ・ ・	P1
1-2 芦田川水害タイムラインの運用	・ ・ ・ ・ ・	P1
1-3 芦田川水害タイムラインにおけるレベル設定の考え方	・ ・ ・ ・ ・	P2
1-4 芦田川水害タイムラインのレベル移行の考え方	・ ・ ・ ・ ・	P3
2. 芦田川水害タイムライン 令和元年度版	・ ・ ・ ・ ・	P4

# 1 芦田川水害タイムラインとは

## 1-1 芦田川水害タイムラインの概要

芦田川水害タイムラインは、芦田川流域の住民の命を守り、さらに社会経済被害を最小化することを目的に、時間軸に沿って芦田川流域の防災機関等（28機関）が災害に対する役割や対応行動を防災行動計画として取りまとめたものであり、災害対応を迅速に進めるための手段の一つである。

本タイムラインは、各機関の行動項目のチェックリストとして活用し、多機関が連携している項目を共有できる。

また、本タイムラインは令和元年度版から適用し、毎年、出水期後に運用実績に基づき振り返り、課題等があれば改善し必要に応じて改定することとする。

## 1-2 芦田川水害タイムラインの運用

芦田川水害タイムライン（令和元年度版）の運用については以下を基本とする。

対象事象：洪水、内水

運用機関：福山市、府中市、県警察、消防組合、自衛隊、ライフライン機関、公共交通機関、報道機関、広島県、気象庁及び国土交通省の28機関

運用期間：立ち上げ（台風または前線性に伴う降雨が、3日後に芦田川流域へ影響する恐れ）から、水防団待機水位を下回り、大雨警報（浸水害）及び洪水警報が解除されるまで

その他：関係機関が連携して策定・運用する多機関連携型タイムライン※<sup>1</sup>として運用する。

※1：多機関連携型タイムラインとは、河川の特徴に応じた多様な防災行動を対象として、多くの関係機関が連携して策定・運用するタイムライン

### 1-3 芦田川水害タイムラインにおけるレベル設定の考え方

芦田川水害タイムライン<令和元年度版>では、主に台風情報、早期注意情報をもとにタイムラインの立ち上げを行い、レベル2以降は芦田川・高屋川の基準水位超過状況及び洪水予報の発令状況に基づいてレベルの移行を行います。

今後、内水氾濫や中小河川氾濫（その先は土砂災害）にも対応したタイムラインとして、適用範囲を拡張できた場合には、気象予警報は市町村単位で把握できるため、全体タイムラインのレベル移行とは別に市単位で警戒レベルの変更を発信・共有するなど運用方法についても拡張していくことを検討します。

#### ◎タイムラインレベルのトリガーと警戒レベル

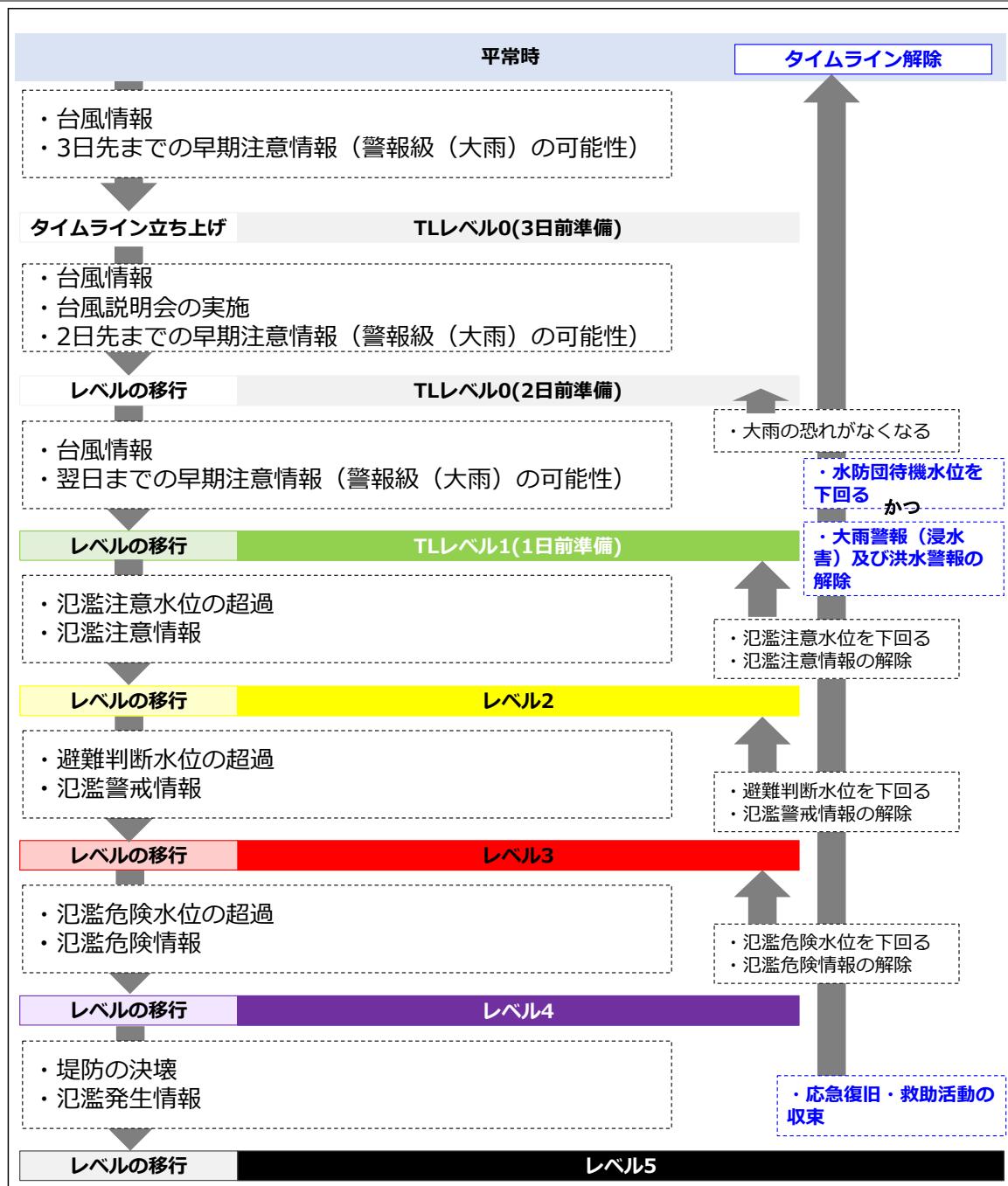
タイムラインレベル	タイムラインレベル移行のトリガー	警戒レベル	各警戒レベルで発表が想定される情報（トリガー以外の情報）
レベル0 (3日前準備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風情報</li> <li>3日先までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）</li> </ul>	—	
レベル0 (2日前準備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風情報</li> <li>台風説明会の実施</li> <li>2日先までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）</li> </ul>	—	
レベル1 (1日前準備)	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風情報</li> <li>翌日までの早期注意情報（警報級（大雨）の可能性）</li> </ul>	警戒レベル1	<ul style="list-style-type: none"> <li>強風注意報</li> </ul>
レベル2	<ul style="list-style-type: none"> <li>氾濫注意水位の超過</li> <li>氾濫注意情報</li> </ul>	警戒レベル2	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報の危険度分布（注意）</li> <li>洪水注意報</li> <li>大雨注意報</li> <li>大雨警報（浸水害）</li> <li>暴風警報</li> </ul>
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難判断水位の超過</li> <li>氾濫警戒情報</li> </ul>	警戒レベル3	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報</li> <li>洪水警報の危険度分布（警戒）</li> </ul>
レベル4	<ul style="list-style-type: none"> <li>氾濫危険水位の超過</li> <li>氾濫危険情報</li> </ul>	警戒レベル4	<ul style="list-style-type: none"> <li>洪水警報の危険度分布（非常に危険）</li> </ul>
レベル5	<ul style="list-style-type: none"> <li>堤防の決壊</li> <li>氾濫発生情報</li> </ul>	警戒レベル5	<ul style="list-style-type: none"> <li>大雨特別警報（浸水害）</li> <li>災害発生情報</li> </ul>

青文字：各タイムラインレベルの状況に合わせて、警戒レベル相当情報に加えて発表が想定される情報

## 1-4 芦田川水害タイムラインのレベル移行の考え方

タイムラインの立上げ・レベル移行・解除は、広島県、広島地方気象台、福山河川国道事務所から構成するタイムライン内部会議において、台風及び前線性降雨による芦田川流域への影響について協議し、意思決定されます。

- ①台風情報、早期注意情報（警報級の可能性）、気象予警報、水位状況に応じて順次タイムラインレベルの移行（引き上げ、引き下げ）を行います。（次頁参照）
- ②タイムラインの立上げ（レベル0）とレベル1への移行は、水系全体としての判断となるため、福山河川国道事務所、広島県、広島地方気象台のみ内部会議により意思決定し、メーリングリストにより通知します。
- ③タイムラインレベル2以降は、河川水位の基準水位超過状況と福山河川国道事務所および広島地方気象台から水位および雨量に基づき発表される情報（洪水予報）をもとに判断され、メーリングリストにより通知します。
- ④被害が発生しなかった場合は、下表の基準に準じて引き下げを行います。  
なお、水位が水防団待機水位を下回り、かつ大雨警報及び洪水警報が解除された場合はタイムラインを解除します。
- ⑤被害が発生した場合（レベル5に到達した場合）は、応急復旧や救助活動が収束するまでレベル5を維持し、応急復旧や救助活動が収束した段階でタイムラインを解除します。



レベル立上げ、移行、引き下げの流れ

## 2. 芦田川水害タイムライン ＜令和元年度版＞

























